



9月県議会（9/21～10/7）石坂ちほ 県議の一般質問と答弁を紹介します。
（9月29日）

浅川ダムは安全性の再検証を—知事が建設地の掘削を約束

浅川ダム建設地で、ダムサイト右岸を横断する F-V 断層が明らかになりました。

石坂県議は、東日本大震災や原発事故の教訓からも「想定外」の言葉では済まされないとした上で、①旧建設省の指針で「第4紀断層がダム敷近傍を通る可能性があるときには二次調査を実施する」とされているが実施されていない、②県治水・利水ダム等検討委員会の答申で、「ダム実施の場合には F-V 断層の再調査を必要とする」とされているが実施されていない、③ F-V 断層はどの程度延長しているか、どの程度深さがあるかが調査されていない。

以上の3点から、「必要な調査もされず全体像が不明のまま、なぜ安全と言えるのか」と指摘し、安全性を検証する調査を強く求めました。

阿部知事は、「県民のなかには F-V 断層の安全性に不安を感じている方もいる」と認め、「改めて掘削を行い、F-V 断層の安全性の再確認をしていきたい」と回答。「ダム建設に支障のない断層だから調査はしない」という従来の方針を転換し、調査結果を10月下旬に公表するとしました。

自然エネルギー 市町村や民間の取り組みに財政支援を

長野県は太陽光、水、森林などが豊富で自然エネルギーの可能性に満ちています。

石坂県議は、県の「再生可能エネルギー導入可能性調査」の結果を生かし、県として数値目標などの基本計画を持ってしっかりと取り組むべきと提案。また、すでに始まっている市町村や民間の取り組みをさらに進めるため、財政的な支援も検討するよう求めました。

荒井環境部長は、導入目標や方法などの検討を「本格的に取り組みたい」と回答。市町村や民間への支援についても、「財政面も含めて検討を進めたい」と答えました。

精神障害者の鉄道運賃割引に県のリーダーシップ発揮を

長野県では障害者の交通運賃割引が、身体障害者や知的障害者には適用されているにも関わらず、精神障害者には適用されていません。全国では16都県ですでに適用されています。

石坂県議は、早期実現は精神障害者のみなさんの強い願いであり、県議会でも実現を求める請願が全会一致で採択された経緯を示し、一日も早く実施されるよう「県の強力なリーダーシップの発揮を」と求めました。

黒田企画部長は「三障害一元化」の立場で、しなの鉄道での実施を前向きに働きかけていきたい、

阿部知事も「関係機関に直接お願いしていきたい」と答えました。



質問を終えて…… 石坂ちほ

東日本大震災、福島原発事故を経験した後の長野県政が、人間らしい社会づくりに向かって希望あるものになってほしいと願って質問しました。

浅川ダムの断層調査がされることになり、注視していきたいと思えます。